

待ち望んだ日帰り手術で、 痛みがなくなつた！

30歳で発症。大学病院で手術をすすめられるが…

東京の下町で総菜屋を営んでいて、毎日、朝の9時から夜の8時頃まで立ちっぱなし。そんな私が下肢静脈瘤になつたのは、30歳頃のことです。ふくらはぎなどが痛くて、ビリビリしびれたりしていました。青くアザになったり、湿疹しつしんが出たりすることもありましたね。

忙しくてなかなか病院に行けず、39歳になって、初めて受診。行つた先は都内の大学病院で、ストリッピング手術(問題のある静脈を抜き去る手術で、根治的な治療をすすめられました)。

でも、その手術を受けるには、1週間ほど入院することが必要だと言われました。仕事と4人の子供の育児にとてもこまいの毎日を送っていた私にはとても無理。やむなく硬化療法(静脈瘤を起こしている静脈に薬剤を注射して、悪い静脈を固める治療法)を受けました。

この硬化療法でいつときはよくなったのですが、何年かすると再発しました。それで、同じ病気に悩んでいる人から、あるク

リニックを紹介してもらって、そこで硬化療法と高位結紮術(脚の付け根の静脈を縛り、血液の逆流を止める治療)を受けました。45歳のときです。

日帰り手術で、 仕事にもすぐに復帰

これでまたよくなったのですが、10年近く経つたら、再々発してきました。どうしたものかと悩んでいると、知り合いの方が日帰り手術をしてくれるクリニックがあると教えてくれました。それはスゴ



登山は下田さんの趣味の一つ。「手術を受けたおかげで、これまでより軽快に登れるような気がしますね」(下田さん)



下田和代さん
(56歳・自営業)

立ち仕事が多く、足に負担がかかる毎日、下肢静脈瘤に

イ！「画期的だ」と思わず膝を打ちました。それというのも、仕事が相変わらず忙しく、1週間も休むことなどできずにいたからです。でも、脚は痛むし、気になって仕方がない。そこに、日帰りストリッピング手術(手術をしてくれる医療機関があることを知ったのですから、もううれしくて…)。

クリニックの名前は北青山Dクリニックで、住所は渋谷区神宮前。自宅からは少し遠いのですが、出かけて診察してもらうと、やはり入院することなくストリッピング手術ができるとのこと。

手術を受けたのは今年の3月です。両脚のものもの内側を手術してもらいました。今では、痛みはなくなつたし、脚がとても軽くなった感じがしますね。手術の翌日は店の定休日だったので、

仕事はしませんでしたが、その翌日には、もう店に立っていました。25年以上続いた下肢静脈瘤とのつき合いも、これで完全に断ち切れるよう気がしています。

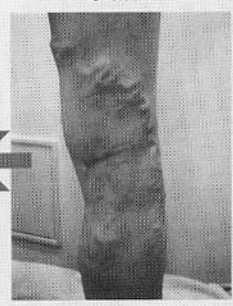
09 ドクターズアドバイス

手術はすべて日帰り
当院で行った下肢静脈瘤の手術は、開院以来すべて日帰り手術です。保険が適用になるストリッピング手術のほかに、自費診療のレーザー治療も行っています。先頃、下肢静脈瘤の治療を当院で受けた患者さんにアンケートを実施したところ、95%以上の方が治療に満足して下さっています。入院することのできない人は、日帰り手術があることも知ってほしいですね。(阿保義久先生)

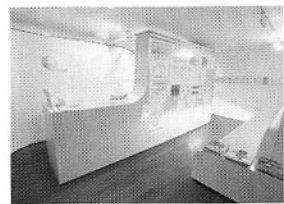
手術後



手術前



手術前後の下肢静脈瘤の症例写真。手術後には、浮き出ている血管がすっきりなくなっている。



DATA
北青山Dクリニック/東京都渋谷区神宮前3-7-10 アケラビルB1階。☎03-5411-3555 休診日：日曜祭日
診療科：外科・脳神経外科・消化器内科・皮膚科・小児科・婦人科。院長の阿保義久氏のほかに複数の医師がいる。
URL/<http://www.dsurgery.com/>



阿保義久先生
北青山Dクリニック院長、血管外科医。東大医学部卒業。東大医学部第一外科、虎ノ門病院を経て、2000年に当院を開業。